

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 三井不動産株式会社（証券コード:8801）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
発行登録債予備格付	AA
国内CP格付	J-1+

### ■格付事由

- 業界トップの営業収益を誇る総合不動産会社。都心5区を中心としたオフィスビルや「ららぽーと」に代表される商業施設などの賃貸事業を主力事業としている。加えて、個人向け住宅や投資家向けの分譲事業、仲介・コンサルティングや管理受託などのマネジメント事業など幅広く事業を展開。それぞれが高い競争力を有し、強固な事業ポートフォリオを誇っている。
- 好調な業績が続いている。市況変動を受けやすい分譲事業の貢献度が高まっているとはいえ、安定した賃貸事業の収益基盤の強化が継続的に進んでおり、今後も安定した業績が予想される。財務構成は良好である。今後は収益基盤強化のため、国内及び海外で積極的な投資が計画されており、一段の財務構成の改善は見込みづらいが、現状の財務構成が悪化する懸念も小さい。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 19/3期営業利益は2,500億円（前期比1.7%増）と8期連続増益かつ過去最高益を更新する見通し。引き続き投資家向け分譲を主体とした分譲事業の増益が寄与する見込みである。収益の柱である賃貸事業の利益水準も引き続き向上しよう。18年10月には米国ニューヨークで「55ハドソンヤード」が竣工するなど海外賃貸事業の強化も進みつつある。今後も、安定度の高い賃貸事業やマネジメント事業の下支え等によって業績は底堅く推移すると考えている。
- 19/3期第2四半期末の自己資本比率34.7%（18/3期末35.1%）、ネットD/Eレシオ1.2倍（同1.1倍）と引き続き良好な水準を維持している。また、財務バッファとなる保有不動産の含み益も厚い。18年5月に公表された長期経営方針「VISION2025」では、国内外で積極的な投資を継続する意向である。特に海外では北米が中心になる見込みであり、「55ハドソンヤード」に続き、「50ハドソンヤード」といった大型プロジェクトも控えている。引き続き資金回収の状況に留意する必要があるが、財務健全性を意識した投資方針に変更はないとみている。

（担当）窪田 幹也・里川 武

### ■格付対象

発行体：三井不動産株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第34回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2009年6月3日	2019年3月20日	2.085%	AA
第35回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2009年7月24日	2019年6月20日	1.719%	AA
第36回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2009年9月10日	2019年9月10日	1.629%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 37 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2010 年 3 月 5 日	2019 年 12 月 20 日	1.493%	AA
第 38 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2010 年 4 月 22 日	2020 年 3 月 19 日	1.497%	AA
第 39 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2010 年 7 月 23 日	2020 年 6 月 19 日	1.191%	AA
第 40 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2010 年 9 月 3 日	2020 年 6 月 19 日	1.061%	AA
第 41 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2011 年 1 月 28 日	2020 年 12 月 18 日	1.324%	AA
第 42 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2011 年 3 月 18 日	2030 年 12 月 20 日	2.302%	AA
第 43 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2011 年 6 月 21 日	2021 年 6 月 18 日	1.272%	AA
第 44 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2011 年 9 月 6 日	2021 年 9 月 6 日	1.173%	AA
第 45 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2012 年 5 月 24 日	2022 年 5 月 24 日	0.997%	AA
第 46 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2012 年 8 月 30 日	2022 年 8 月 30 日	0.964%	AA
第 47 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 3 月 15 日	2032 年 12 月 20 日	1.954%	AA
第 48 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 8 月 2 日	2033 年 8 月 2 日	2.045%	AA
第 49 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 3 月 18 日	2046 年 3 月 16 日	1.330%	AA
第 50 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 4 月 27 日	2046 年 4 月 27 日	1.000%	AA
第 51 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 12 月 6 日	2019 年 12 月 6 日	0.001%	AA
第 52 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70 億円	2016 年 12 月 6 日	2036 年 12 月 5 日	0.712%	AA
第 53 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	60 億円	2016 年 12 月 6 日	2056 年 12 月 6 日	1.179%	AA
第 54 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250 億円	2017 年 2 月 24 日	2020 年 4 月 7 日	0.001%	AA
第 55 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 2 月 24 日	2037 年 2 月 24 日	0.929%	AA
第 56 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 8 月 28 日	2024 年 8 月 28 日	0.200%	AA
第 57 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 8 月 28 日	2027 年 8 月 27 日	0.240%	AA
第 58 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 2 月 26 日	2023 年 2 月 24 日	0.100%	AA
第 59 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 2 月 26 日	2025 年 2 月 26 日	0.220%	AA
第 60 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 5 月 7 日	2028 年 5 月 2 日	0.305%	AA
第 61 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 10 月 30 日	2023 年 10 月 30 日	0.090%	AA
第 62 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 10 月 30 日	2025 年 10 月 30 日	0.200%	AA
第 63 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2018 年 10 月 30 日	2028 年 10 月 30 日	0.374%	AA

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	2,000 億円	2017 年 4 月 1 日から 2 年間	AA

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	4,000 億円	J-1+

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年1月24日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「不動産」(2011年7月13日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 三井不動産株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■用語解説

**予備格付**：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル